

週刊

愛知民報

2022年
11月27日
第2611号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

【略歴】1957年7月、三重県四日市市生まれ。65歳。名古屋市昭和区在住。家族は夫、娘、孫息子と4人ぐらし。



愛知県知事選 1月19日告示、2月5日投開票

革新県政の会が推薦

尾形けいこさん

革新県政の会(日本共産党も参加)は16日、代表の尾形けいこ(慶子)さん(65)を推薦で、1月19日告示、2月5日投開票で実施される愛知県知事選挙に、すでに立候補を表明している政治団体「尾形さんは福島原発」の代表は経過報告で、「オール与党」や連合

愛知はいち早く現職の大村秀章知事を推薦しました。知事選は、県民の共闘を呼び、大村県政に対決する立場でたたかいます」と述べました。

総会は、6つの柱・113項目の「基本政策」を採択。樽松代表と尾形さんは、知事選をともにたたかう「政策協定」「組織協定」の調印をしました。



尾形さんは、「福島原発事故後、脱原発の立場で政治に関わらないといけないと思いました。原発をなくすこと、環境を守ること、世の中の不正を正すために働くことを決めた」と述べた。

政策・組織協定の調印書を掲げる尾形さんと革新県政の会役員11月16日、名古屋

1、物価高騰から暮らしを守り、県民生活を支える経済への転換

利潤第一の新自由主義のもとで、日本は四半世紀にわたって賃金が上がりず実質賃金が低下し続け経済成長で

きない異常な国になっています。そして長引くコロナ禍に加え、異常な円安・物価高で国民・県民の暮らしがかつてなく追い詰められています。

3、市町村を支援

その原因は大企業の利益を最優先にしてきた自民・公明政権の失政にあります。大企業頼みの経済ではだめです。愛知県政を、県民生活を支えながら経済成長をはかる方向に大転換します。

2、コロナ感染症の教訓を生かし、いのちと暮らし・教育を最優先に

愛知県において第8波に突入したとされるコロナ禍では、とくに保健・医療や福祉など県民の命をまもる体制の脆弱さが浮き彫りになりました。保育士や

2023年愛知県知事選挙
「基本政策」6つの柱
2022年11月16日 革新県政の会

教員の不足などで、安全な保育や学校教育をすすめる上での大きな課題も明らかになっています。

県政の役割は、県民の暮らしを守る土台をつくることです。

子ども医療費無料制度では多くの自治体が18歳年度末まで無料にする動きが広がっています。しかし今の県制度は入院が中学卒業まで、通院は就学前までに止まっており市町村の足を引っ張っています。

県が進んで市町村の施策が引きあがる土台となるよう応援を強めます。住民にとって身近な施策が前進するよう、県として市町村の施策を支え、地域住民にとって身近な県政を実現します。

(3面につづく)

決起集会 12月2日(金) 午後6時半
名古屋市公会堂 4階ホール
ZOOM 併用です
申込 zoom@kakushin.jp